

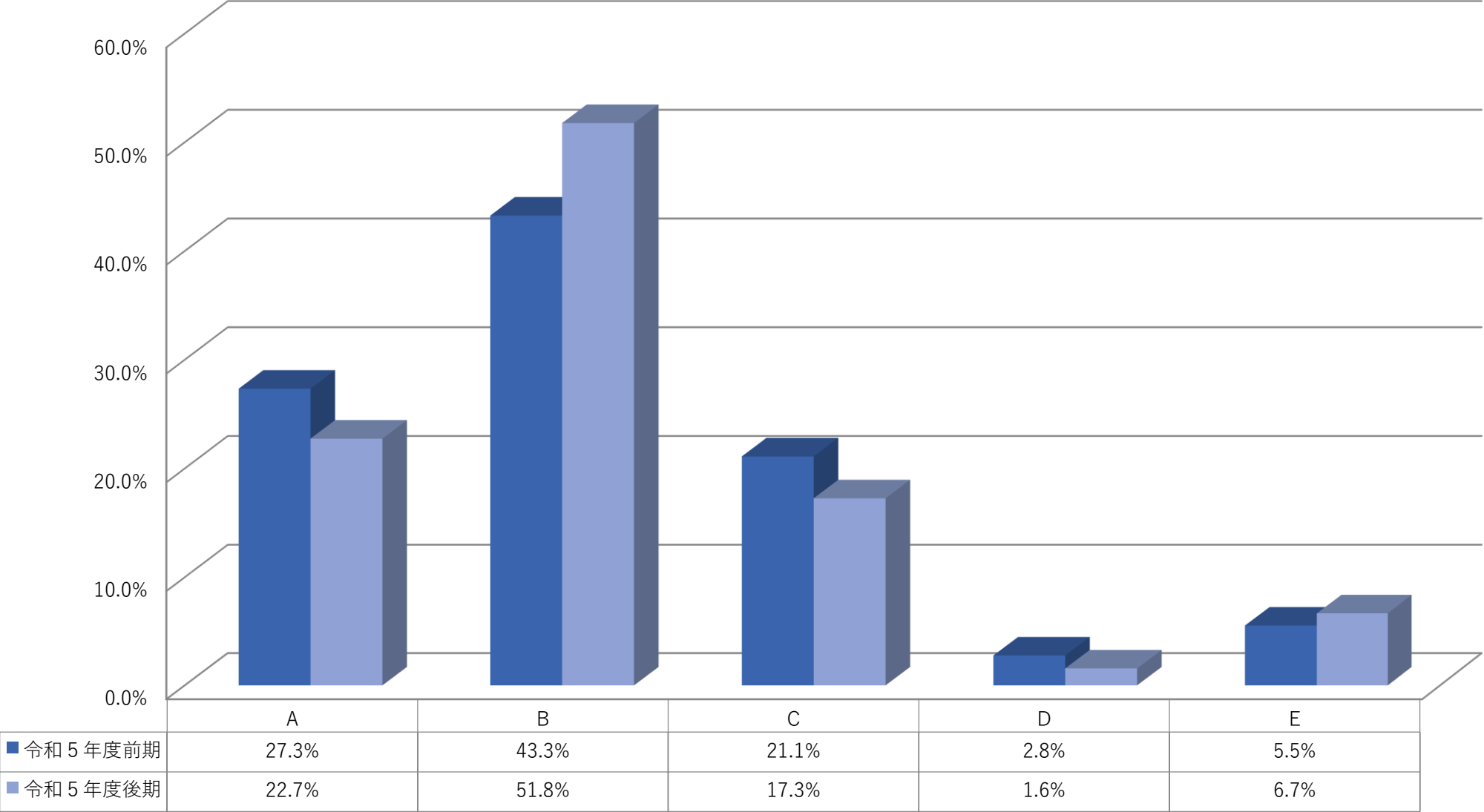
令和5年度後期 学校評価アンケート集計結果

浦安市立東野小学校

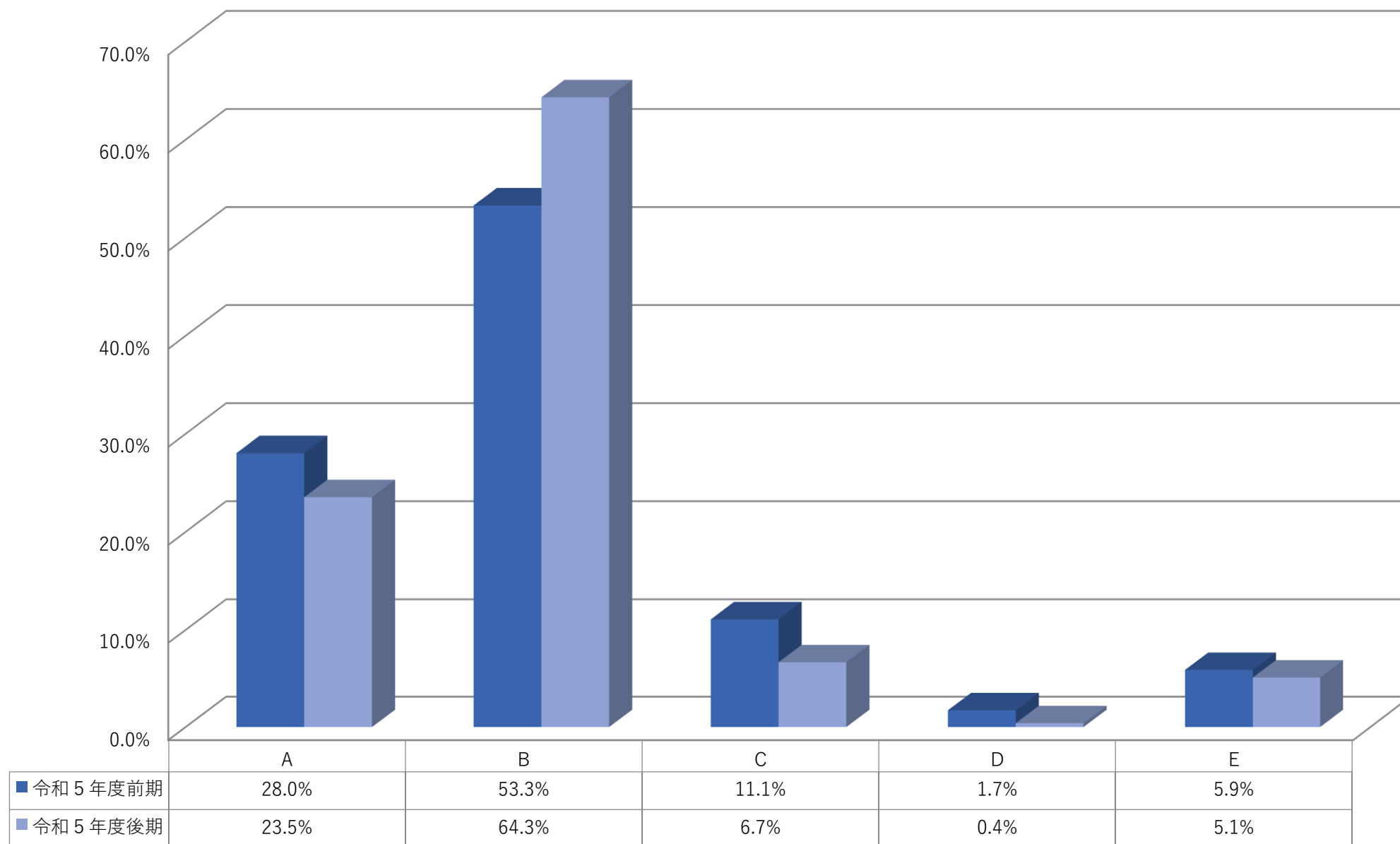
学校評価（保護者）アンケートについて

- 年2回（今年度は9月と2月）実施
→昨年度までの年1回から
- 専用フォームからオンライン回答
→児童数で回答を依頼
- A:そう思う,B:そう思うことが多い,C:そう思わないことが多い,D:そう思わない,
E:どちらとも言えない の5段階評価
- 学校が設定した評価項目について,保護者・児童・教職員がそれぞれの立場から
評価を行い,その内容を今後の教育活動に生かすことを目的に実施。→今年度より
「自由記述欄」は廃止。
- 前期回答率56.6%(289/511人),後期回答率49.9%(255/511人)
→回答率の低さが課題。
→より正確に分析を行うため,引き続き協力依頼を行う必要あり。

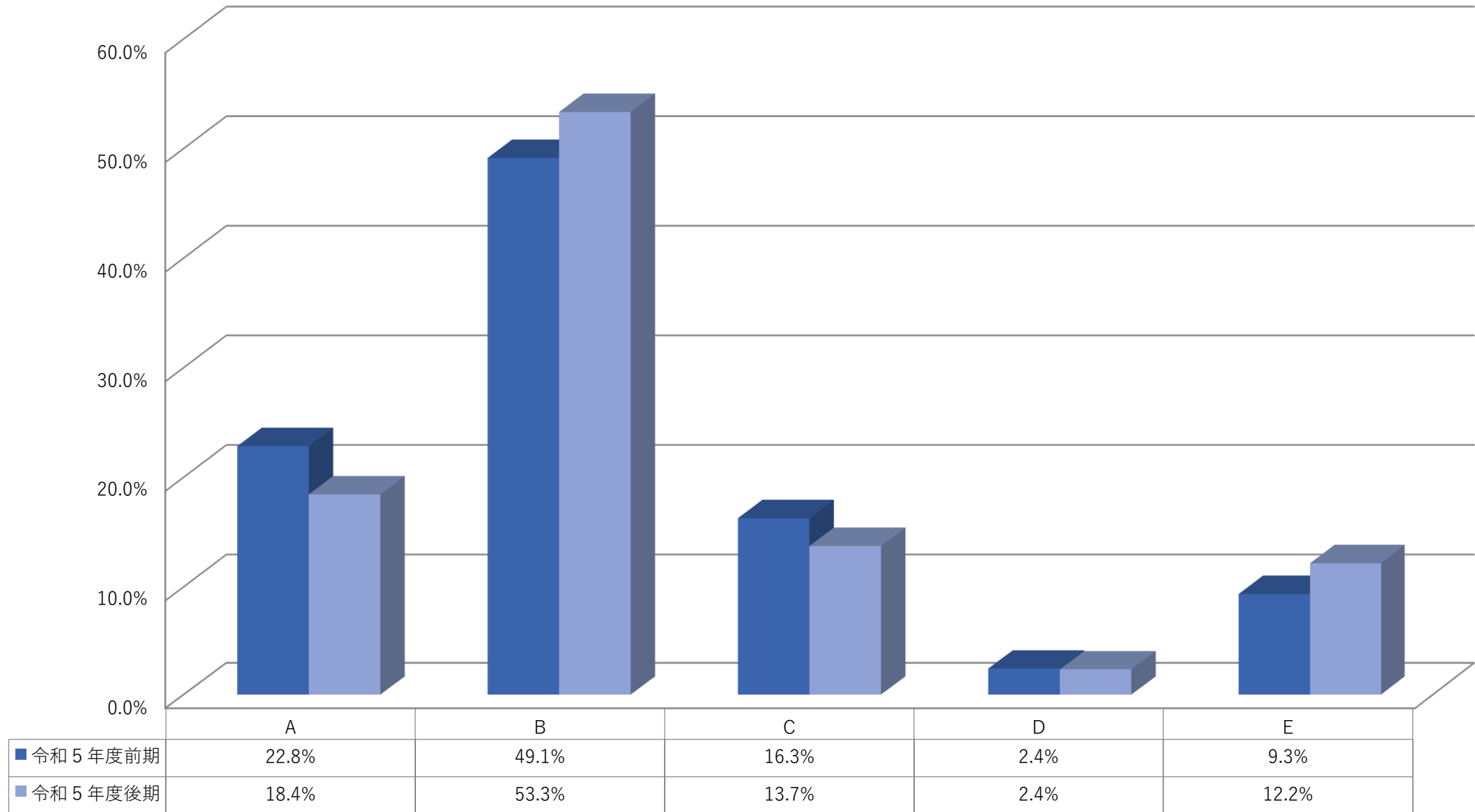
1.お子さんは、先生や友だち、おうちの人、近所の人に
進んで挨拶をしていますか。



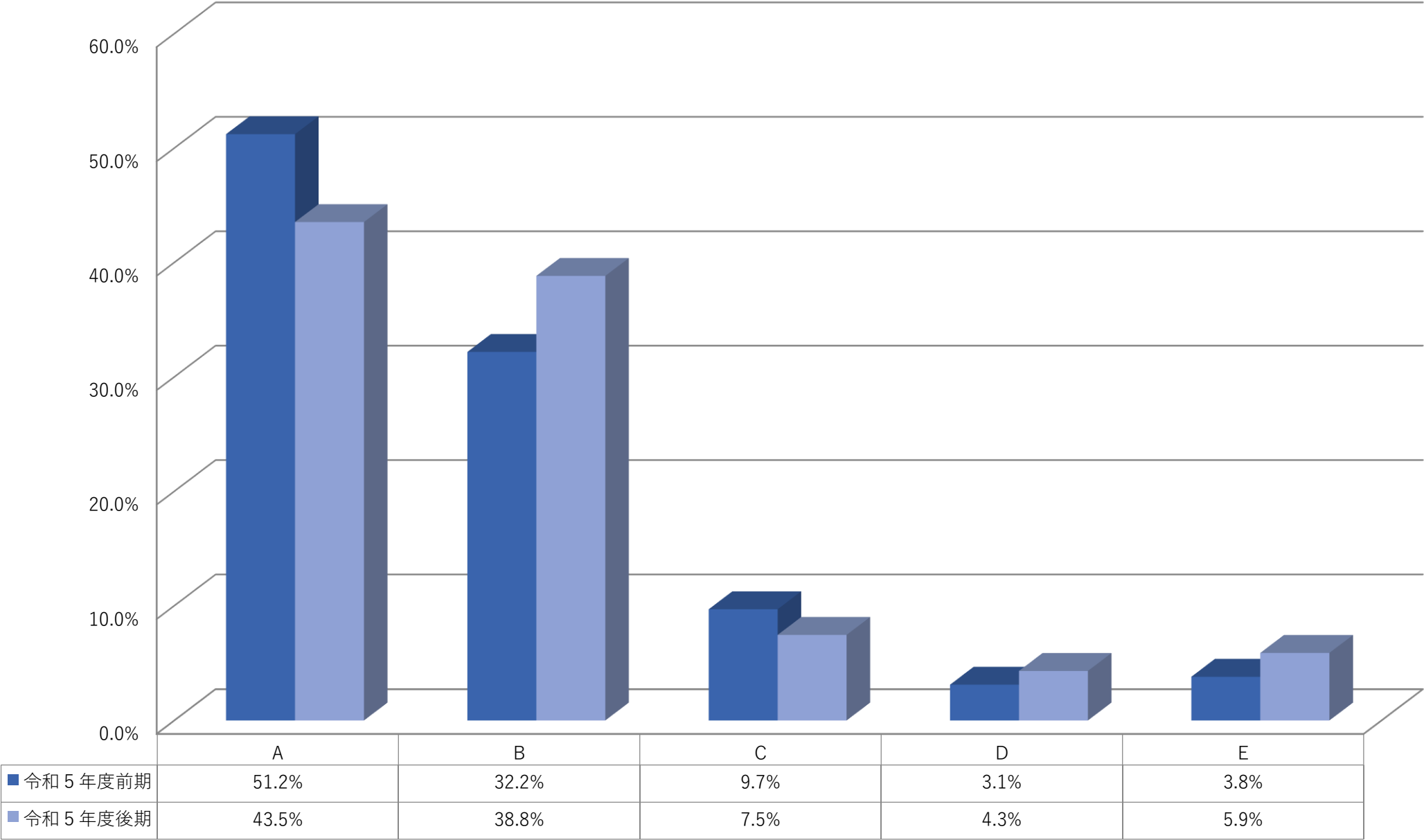
2. お子さんは、友だちや大人の人に「ありがとう」や「ごめんなさい」など自分の気持ちを伝えることができますか。



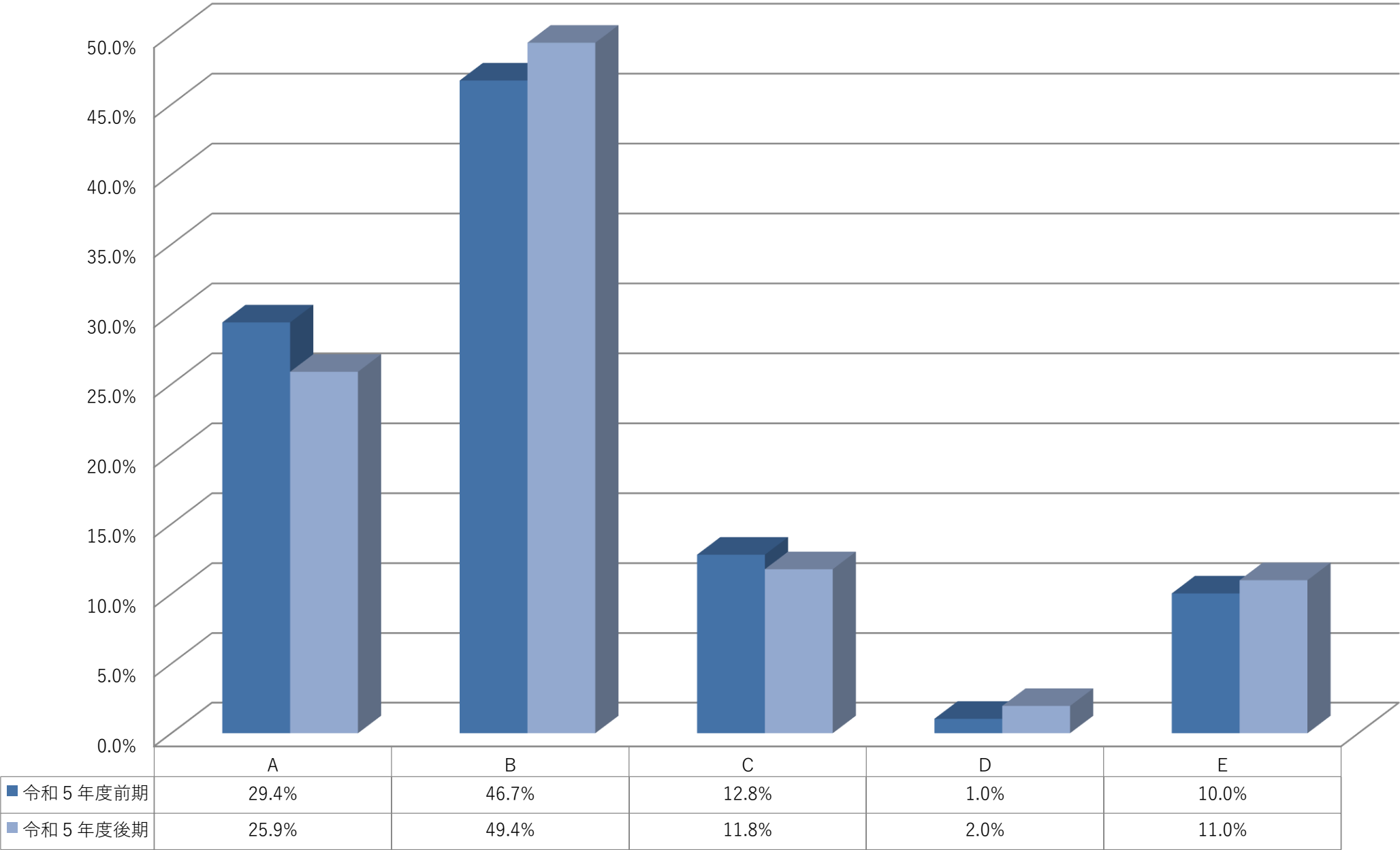
3.お子さんは、何事もあきらめずに頑張って取り組もう
とする気持ちを持っていますか。



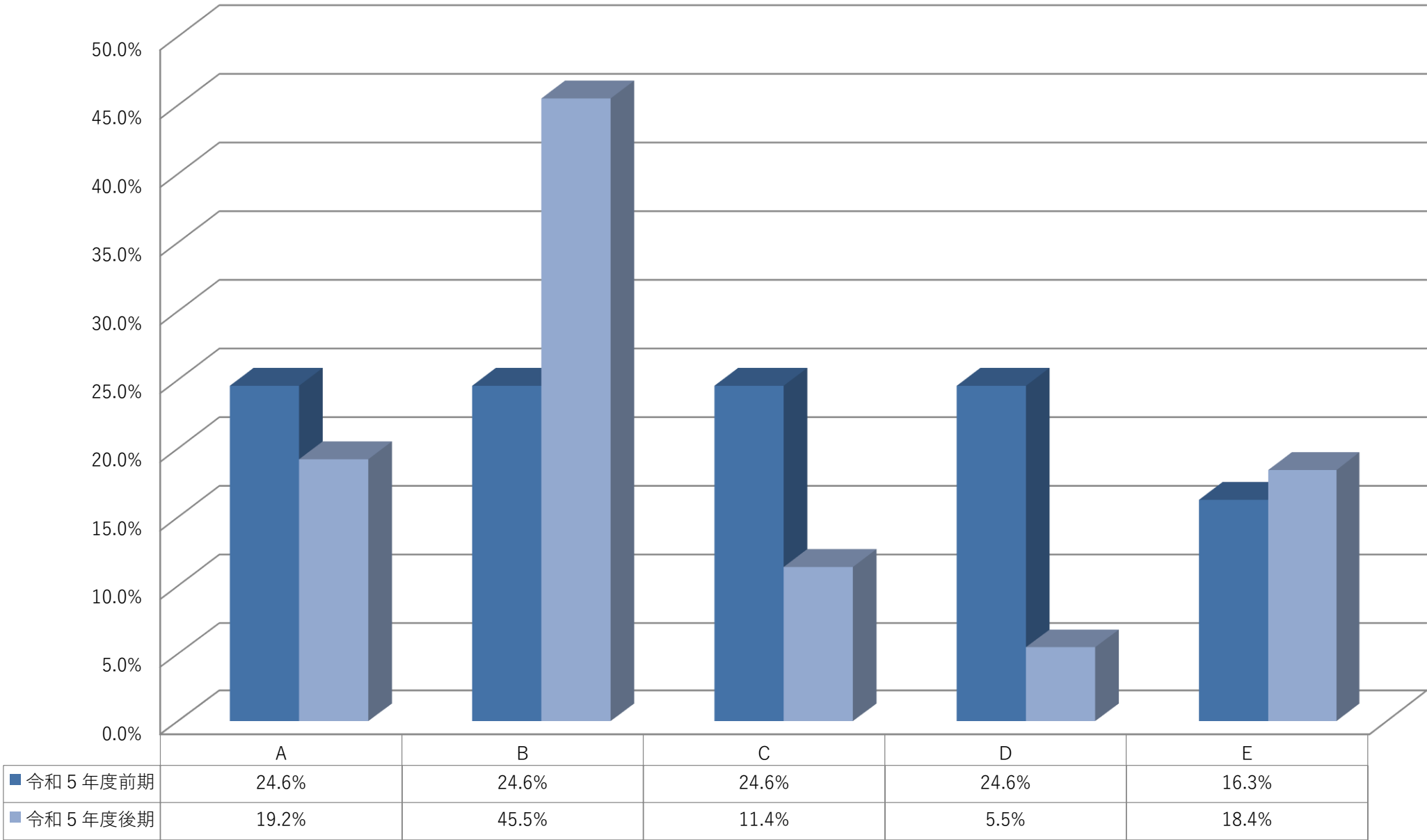
4.お子さんは、学校に喜んで登校していますか。



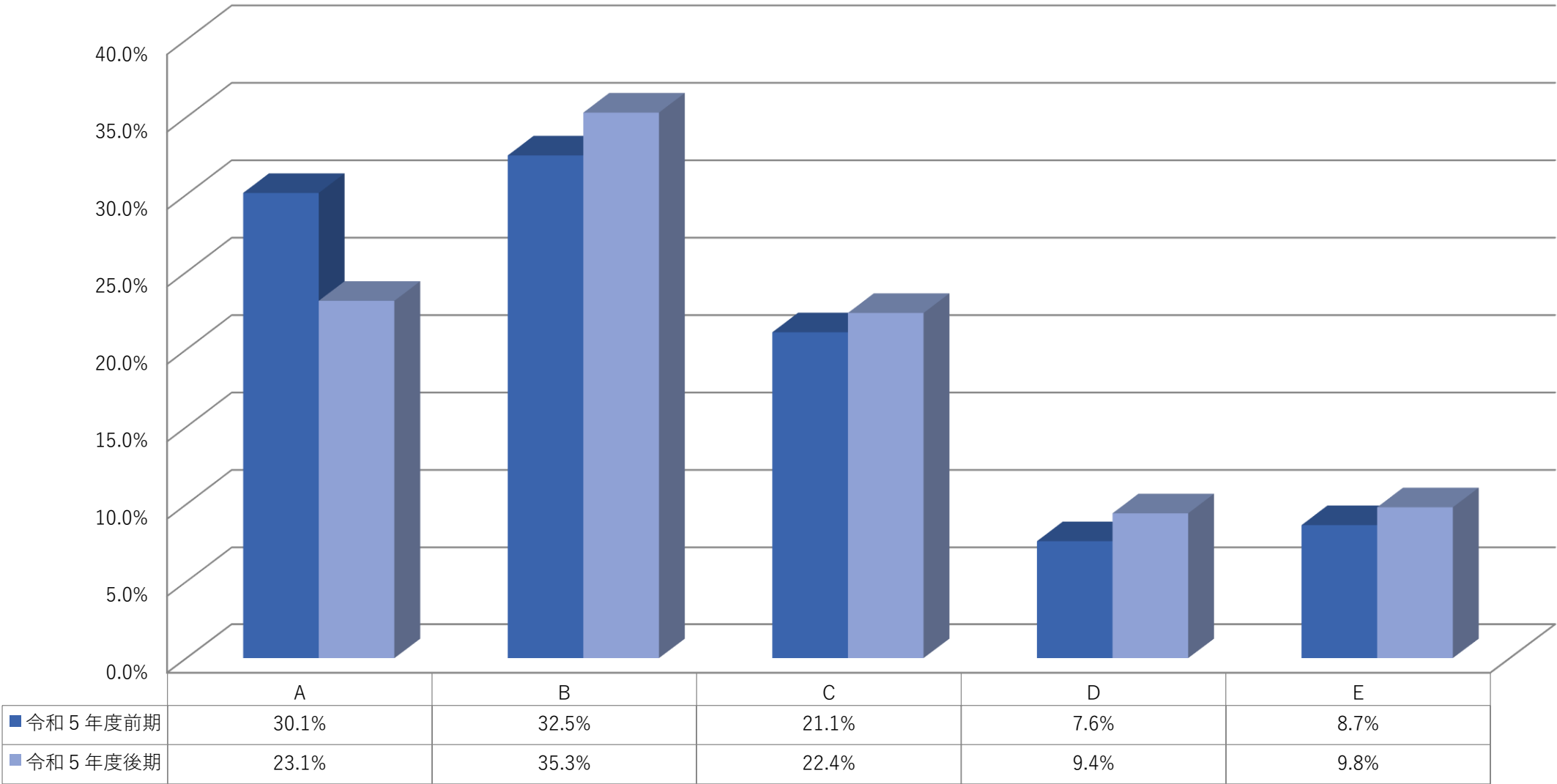
5.お子さんは、学校の勉強がわかっていますか。



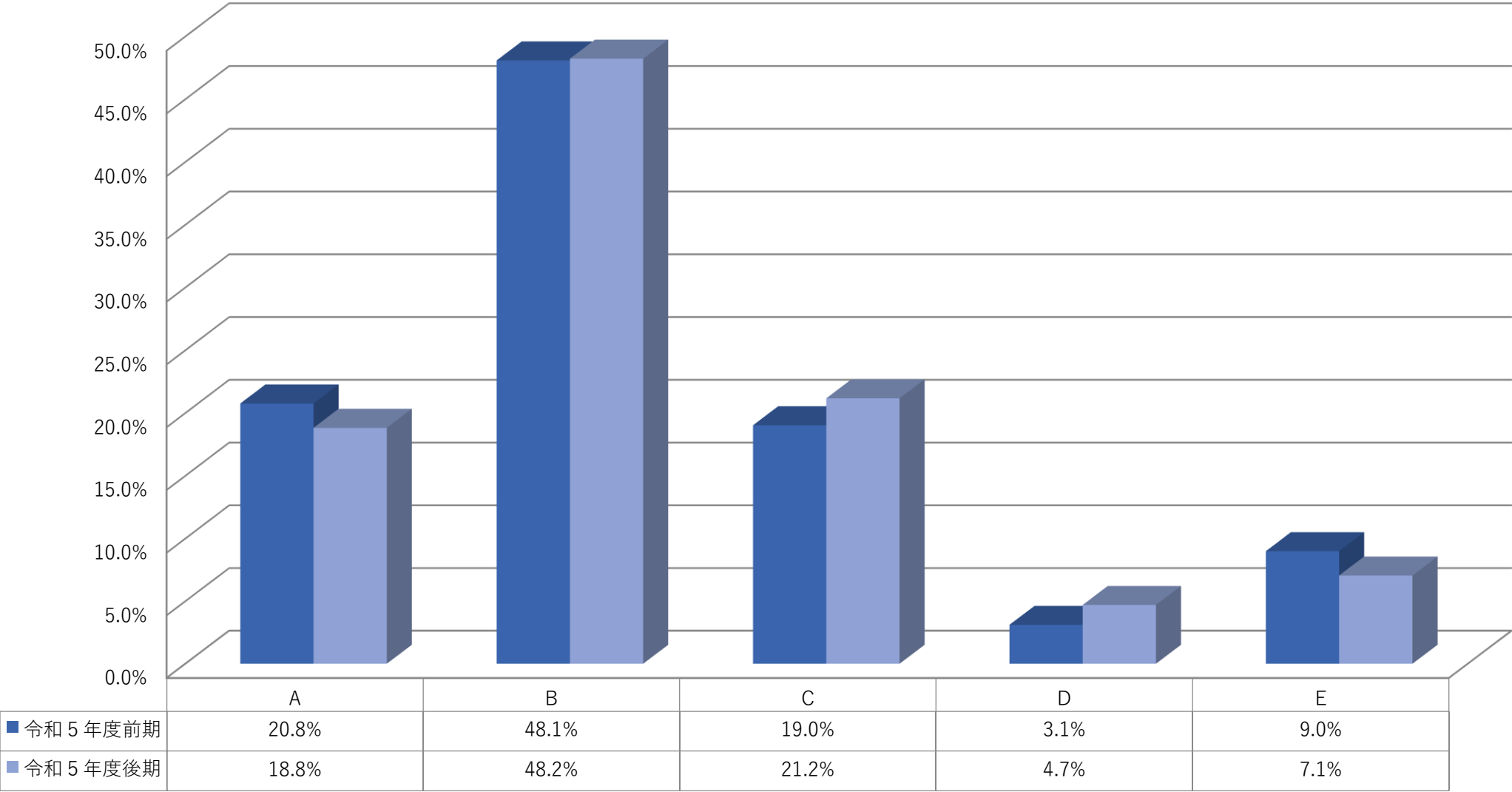
6.お子さんは、外国語活動や外国語の勉強で、様々な国の文化に触れる機会を持つことができましたか。



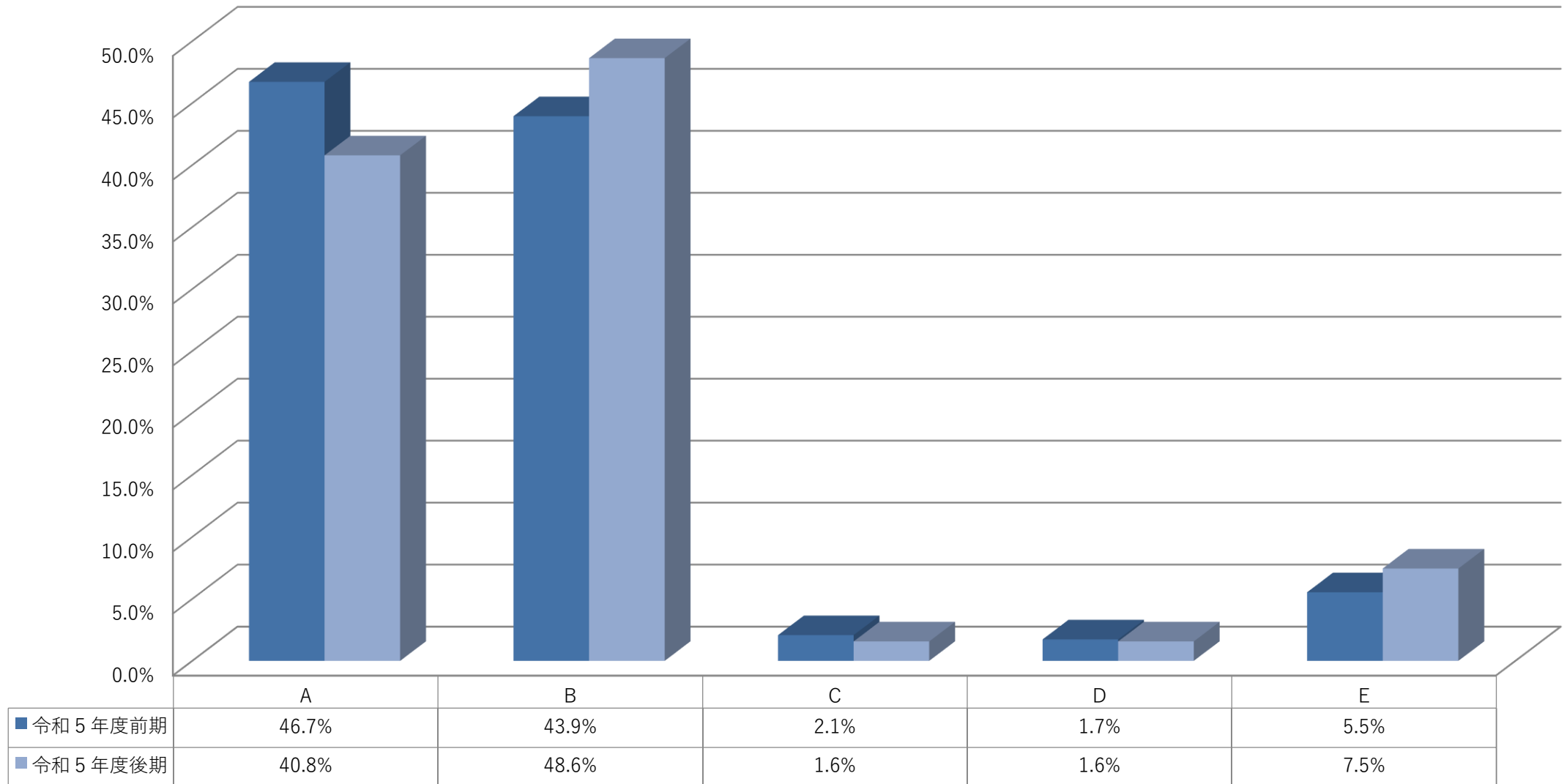
7.お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。
(学年×10分が目安)



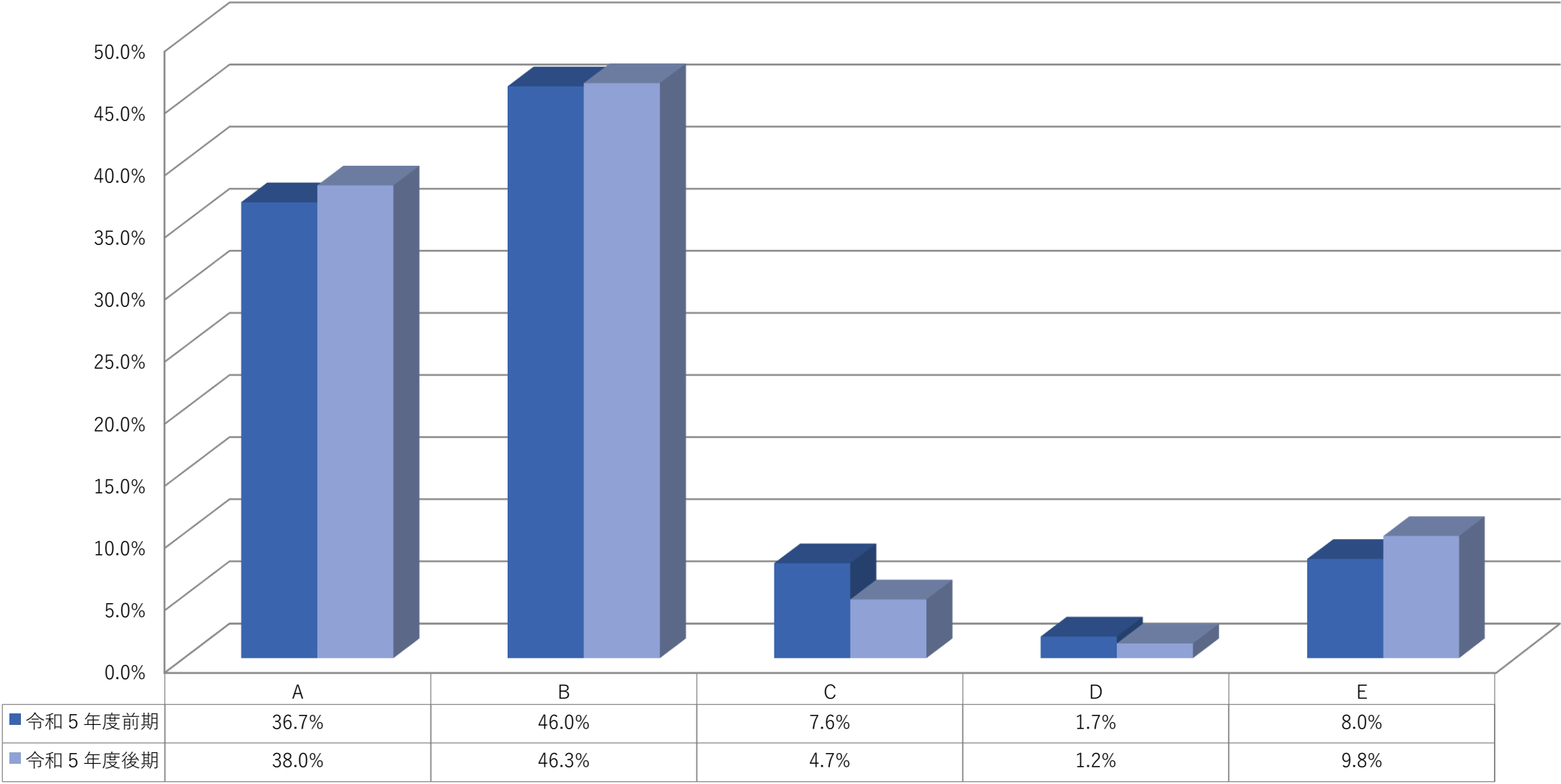
8.お子さんは、きまりやルールを守っていますか。（時間のルール、自転車などの交通ルール、携帯電話やスマートフォン、ゲーム等の家庭のルール）



9.学校は、保護者からの連絡や相談の
適切な対応に努めていますか。



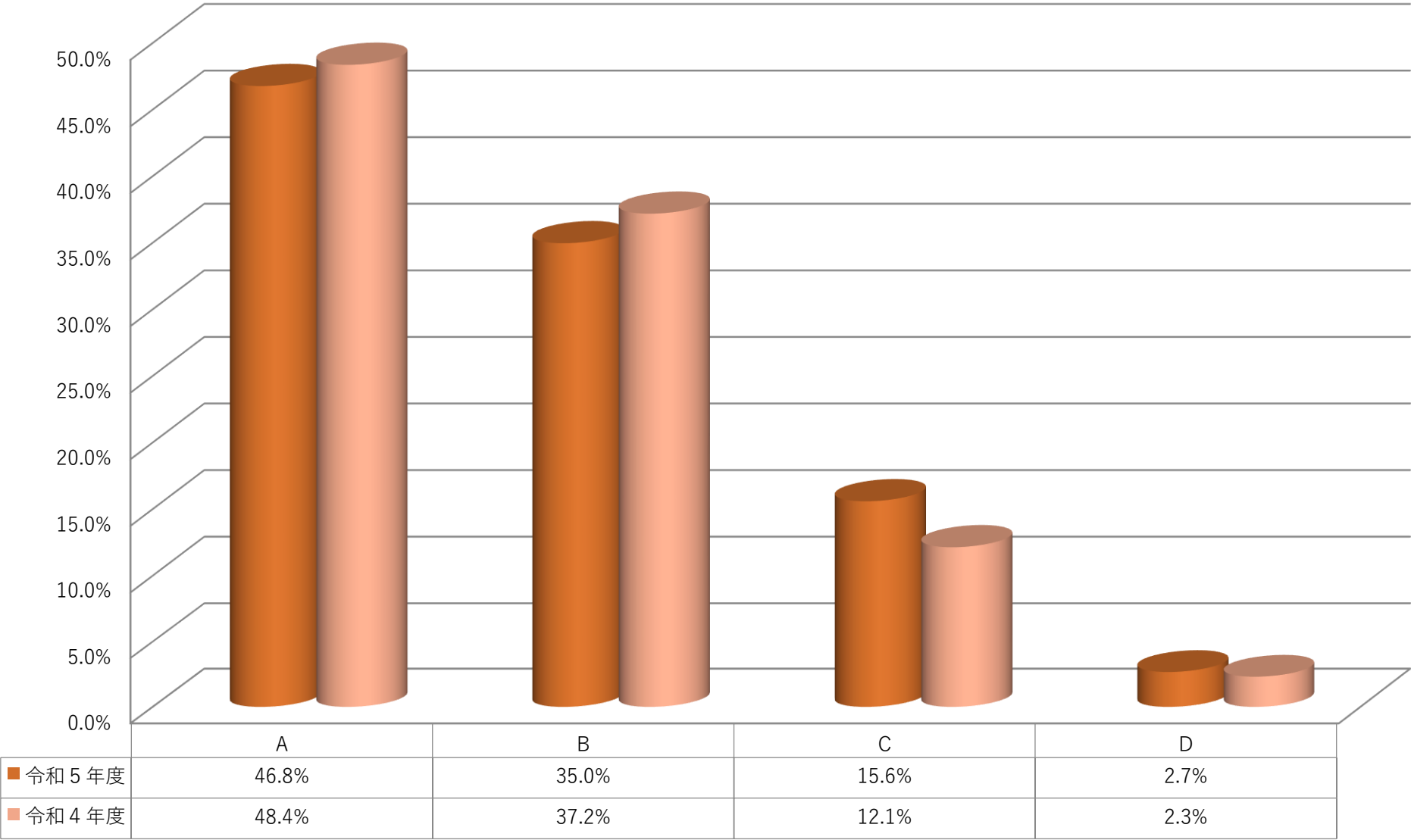
10.学校だよりや学年だより、メール配信等により、
学校の様子が伝わっていますか。



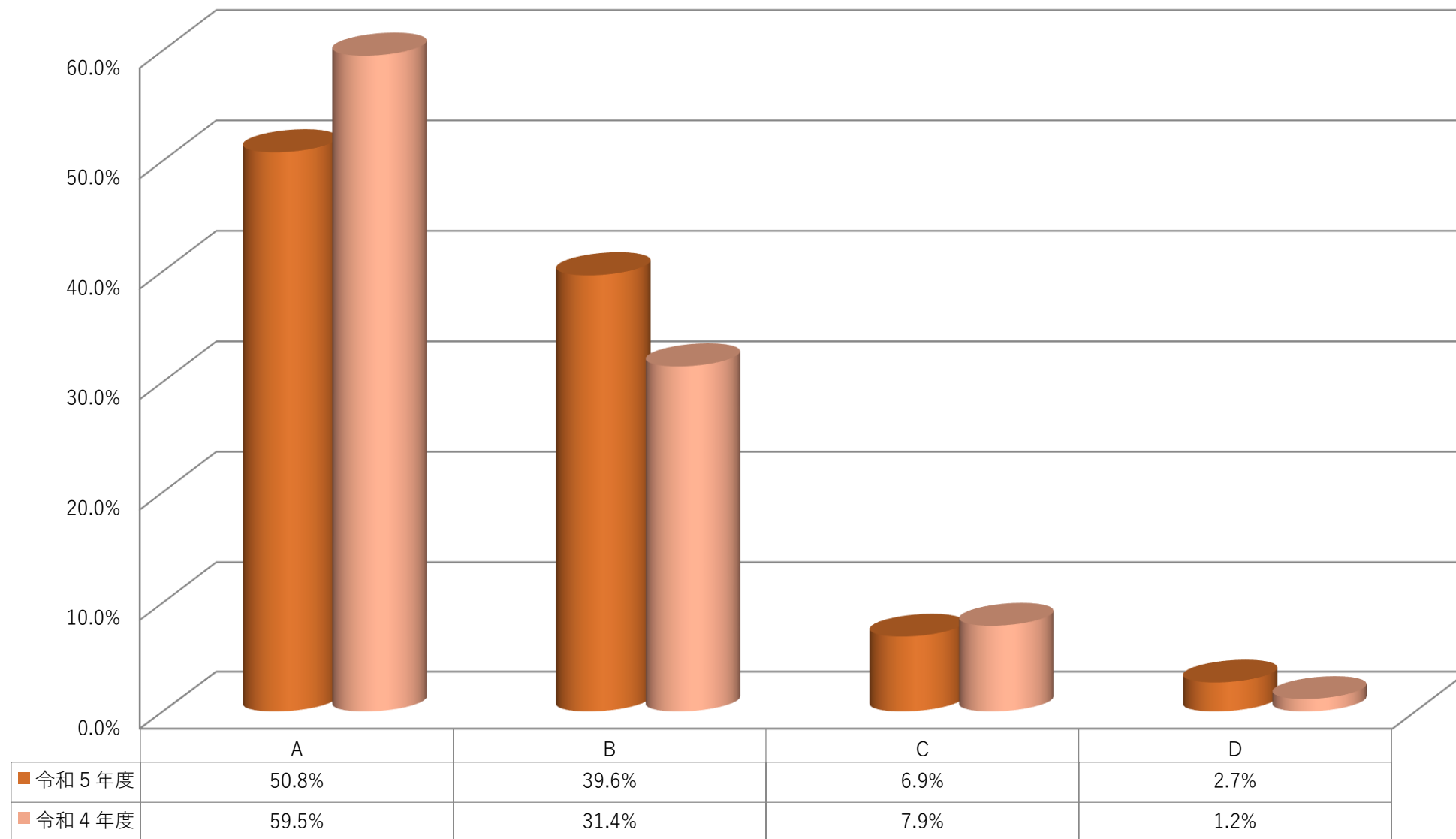
学校評価（児童）アンケートについて

- 年1回（今年度は2月）実施
- 専用フォームからオンライン回答
→全校児童対象
- A:そう思う, B:そう思うことが多い, C:そう思わないことが多い, D:そう思わない の4段階評価
- 全10問 自由記述欄はなし
→問3「勉強することは楽しいか」 新設
- R4回答率94.0%（519/552人）, 後期回答率87.8%（449/511人）
→回答期間中欠席者が多かったため、回答率が低下してしまった。

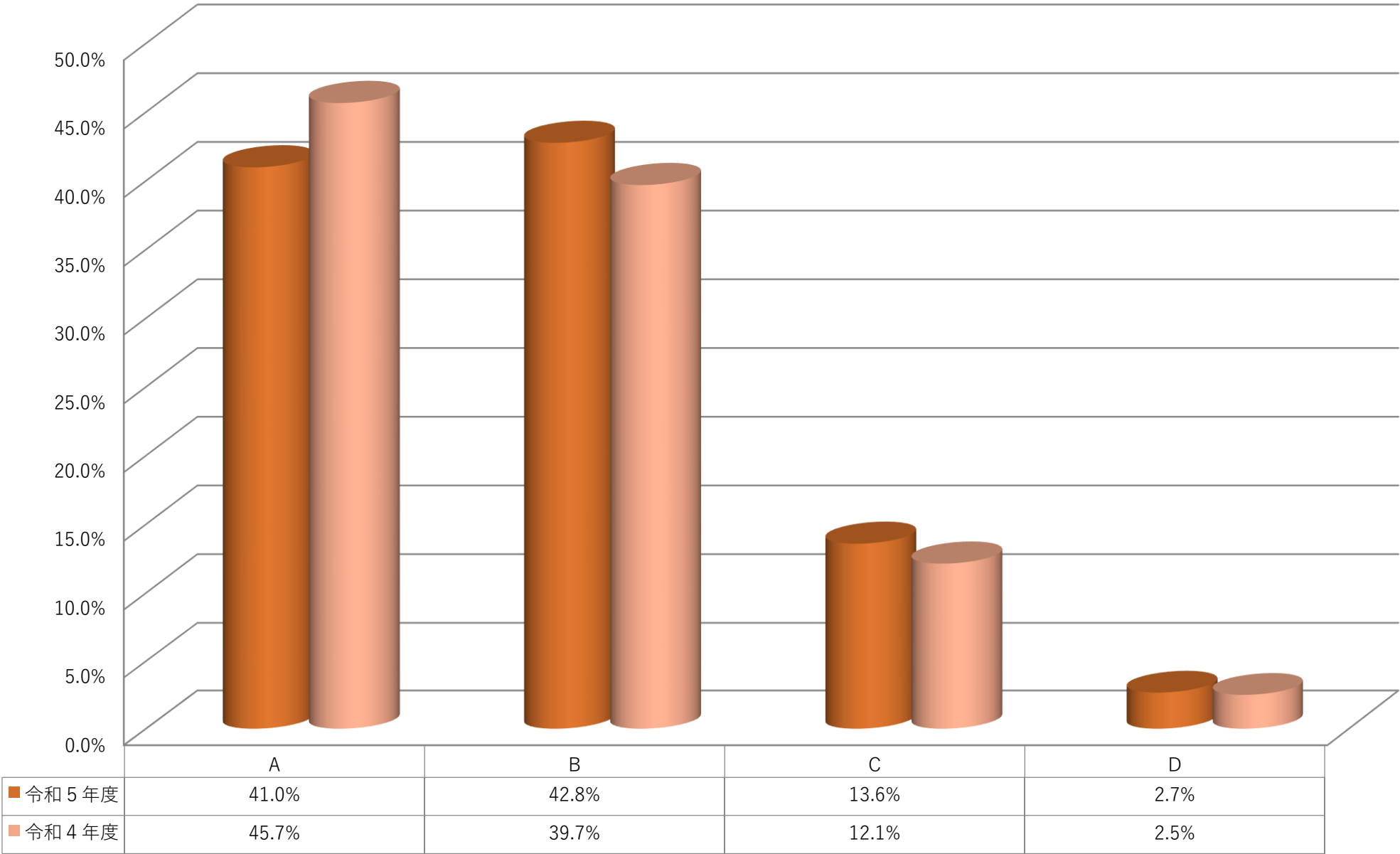
1.あなたは、先生や友だち、おうちの人、近所の人に
進んで挨拶をしていますか。



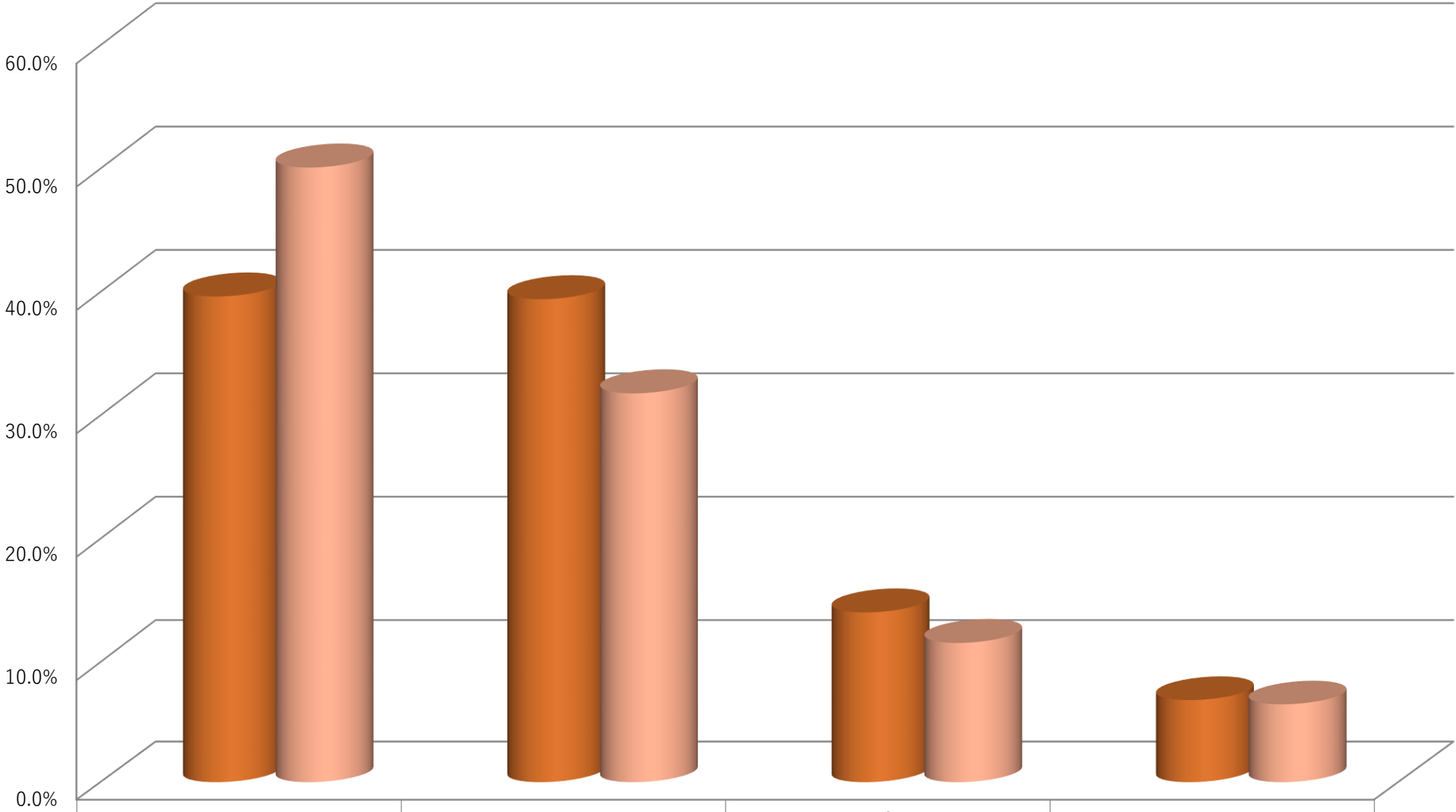
2. あなたは、友だちや大人の人に「ありがとう」や「ごめんなさい」など自分の気持ちを素直に伝えることができますか。



3.あなたは、あきらめずに頑張っていますか。



4.あなたは学校に来るのが楽しいですか。



■ 令和 5 年度

39.6%

39.4%

14.0%

6.9%

■ 令和 4 年度

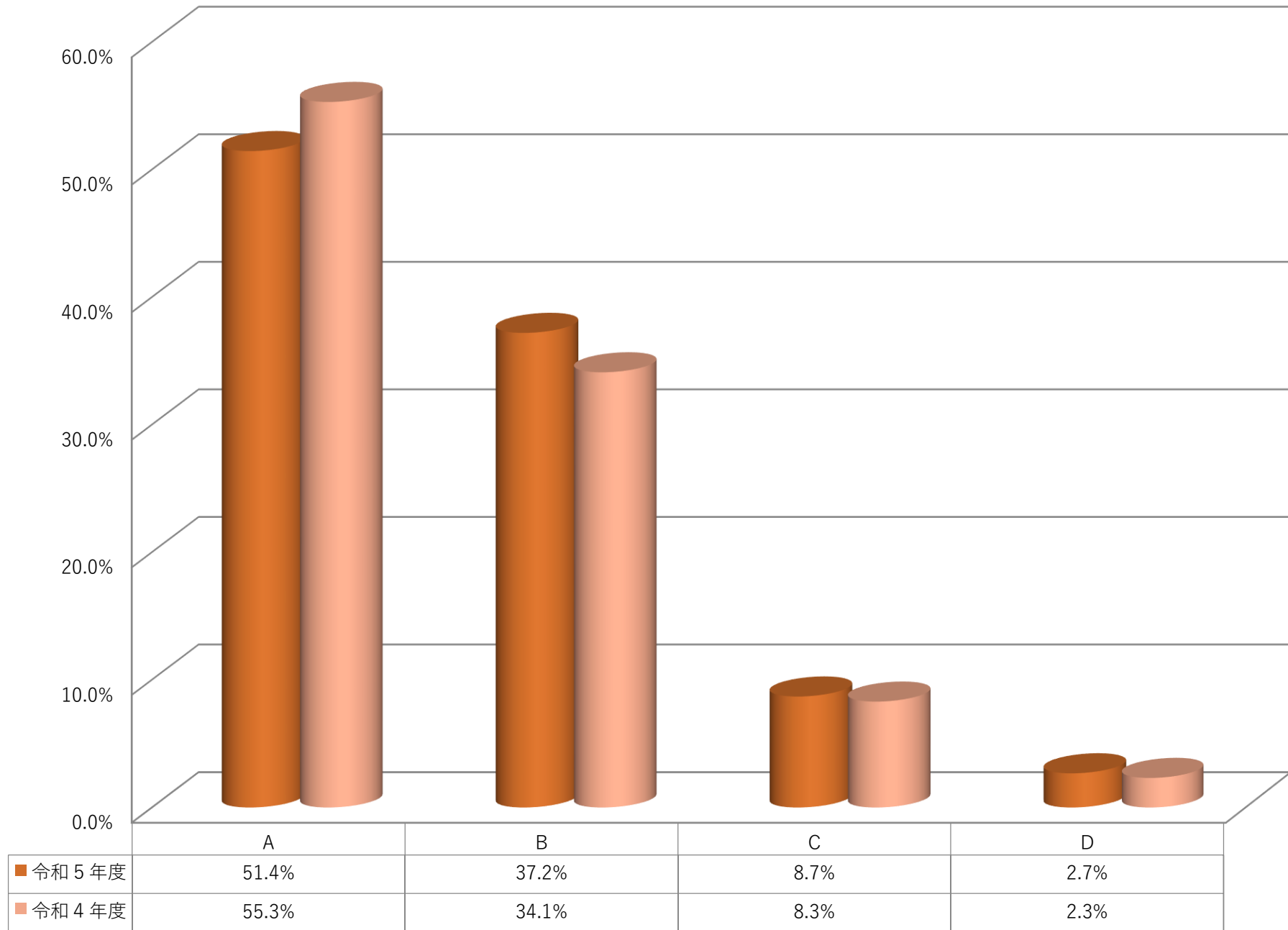
50.1%

31.8%

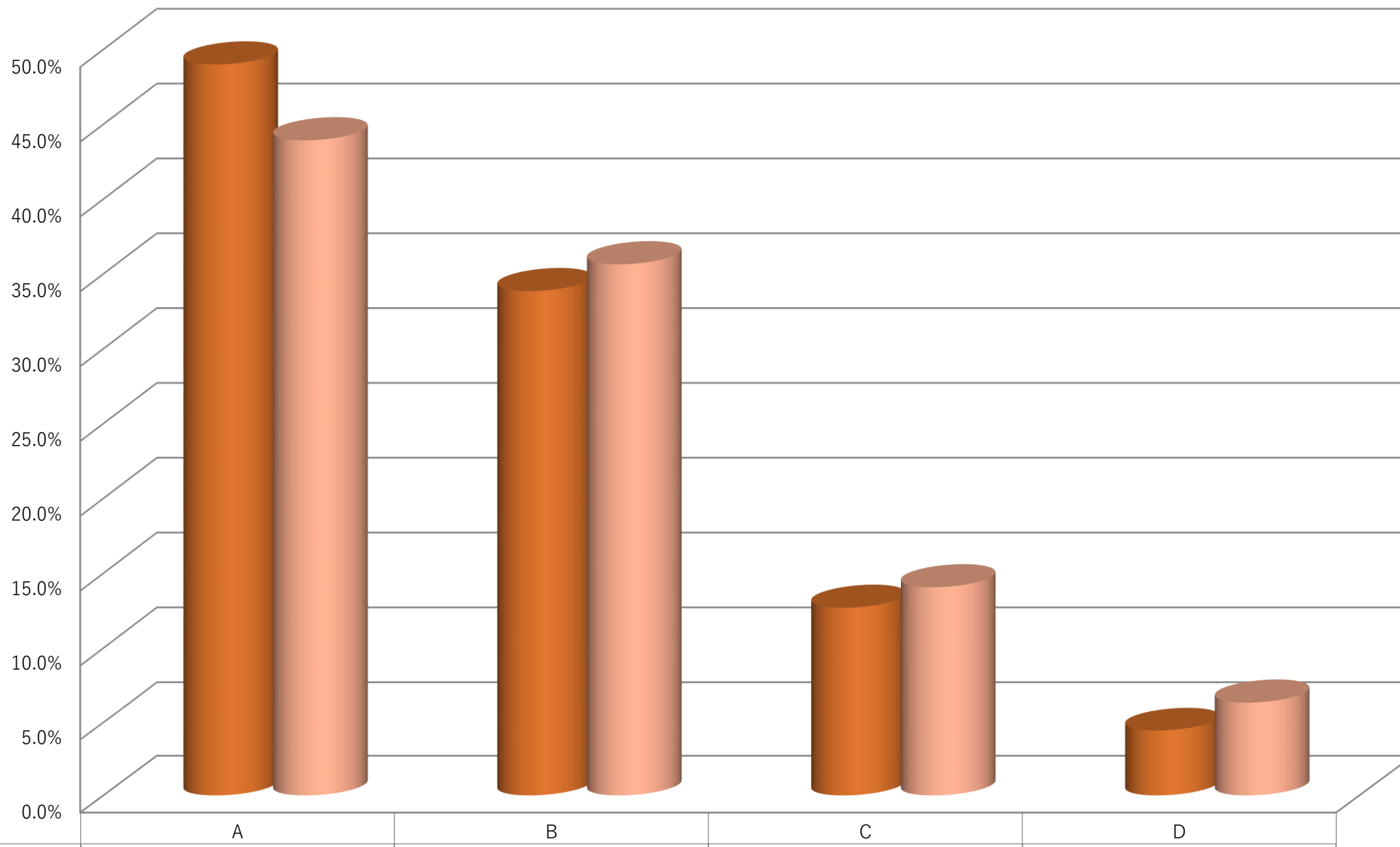
11.6%

6.6%

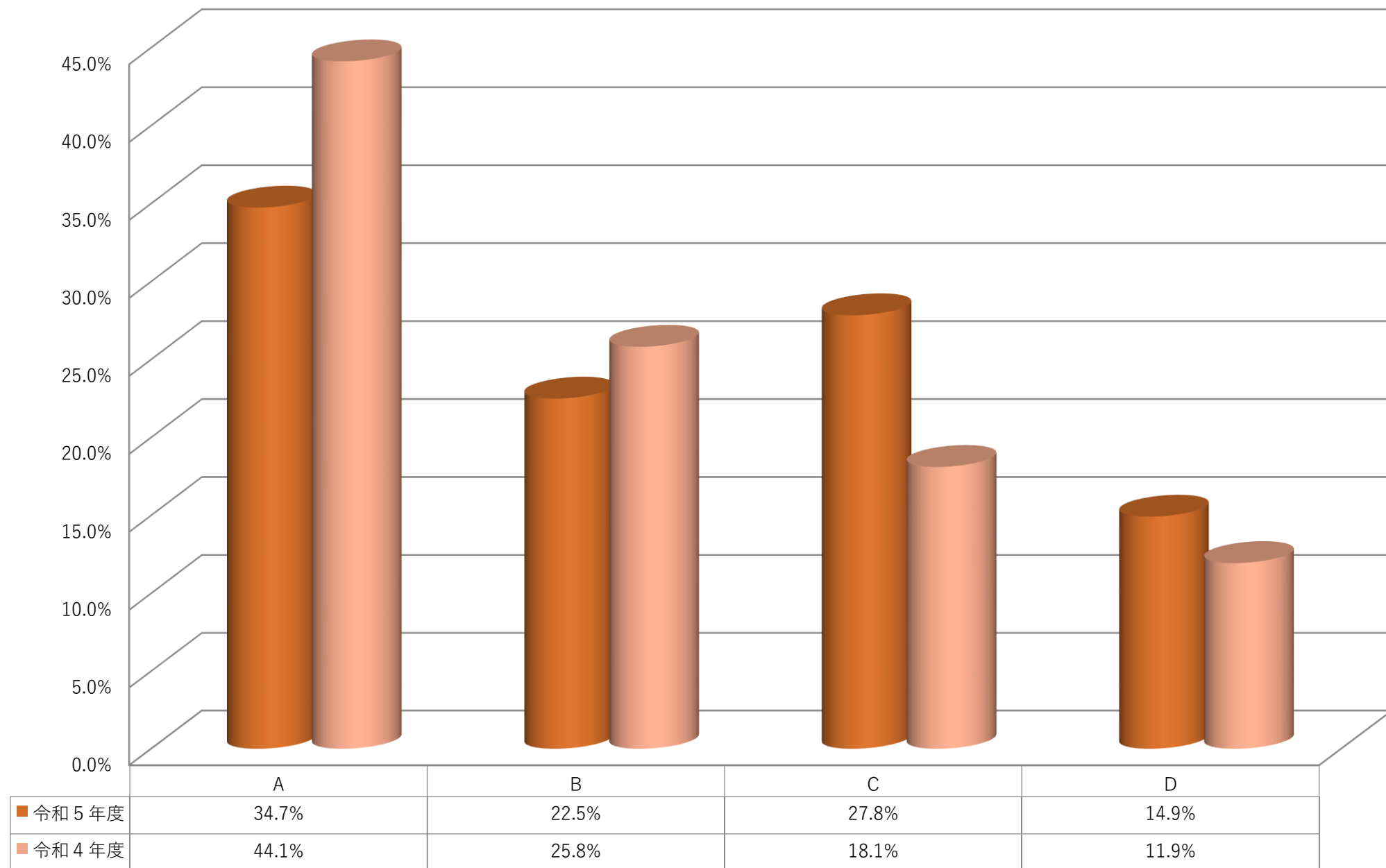
5.あなたは、学校の勉強がわかりますか。



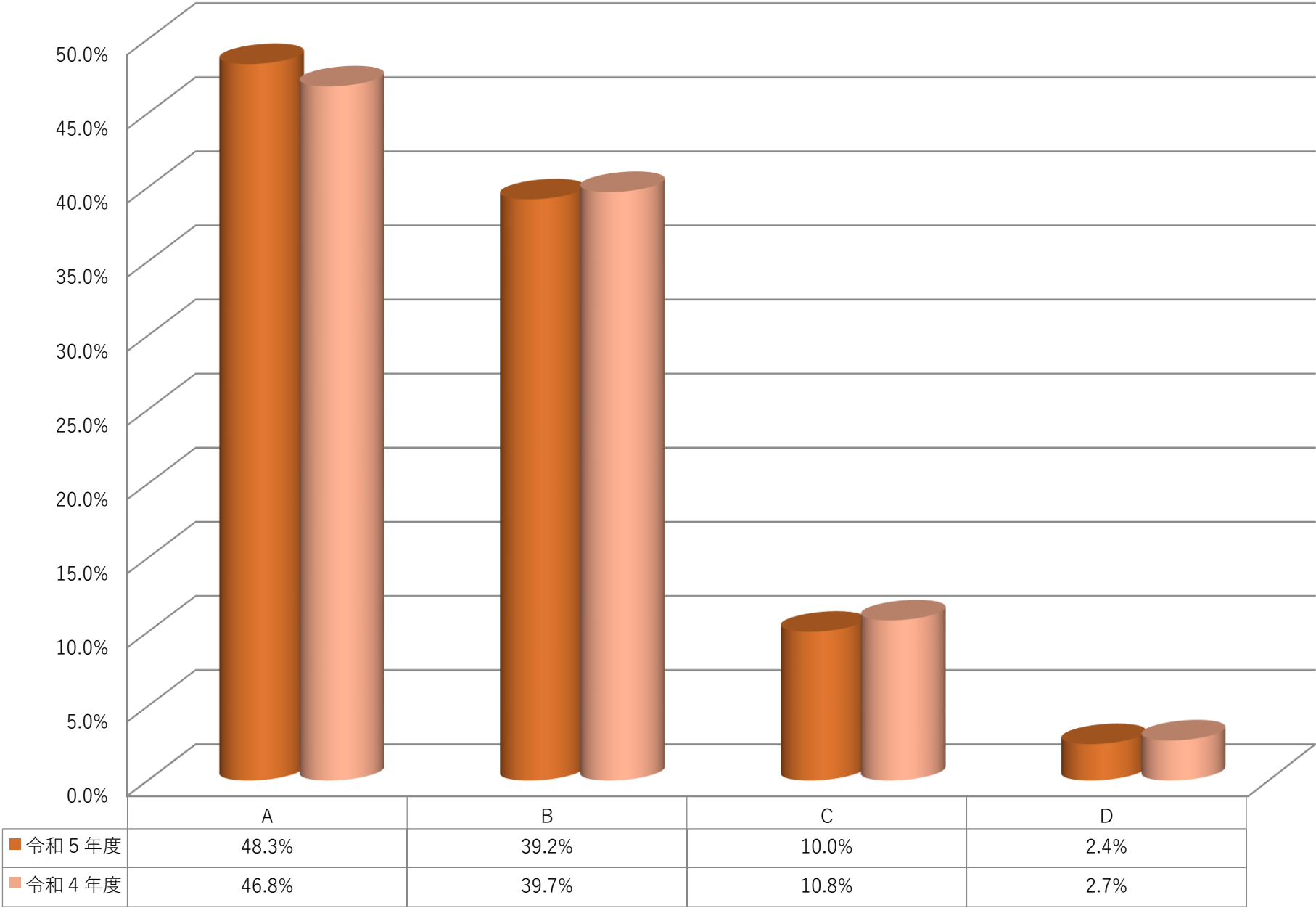
6.あなたは、外国語の勉強で、いろいろな外国のことを
知ることができましたか。



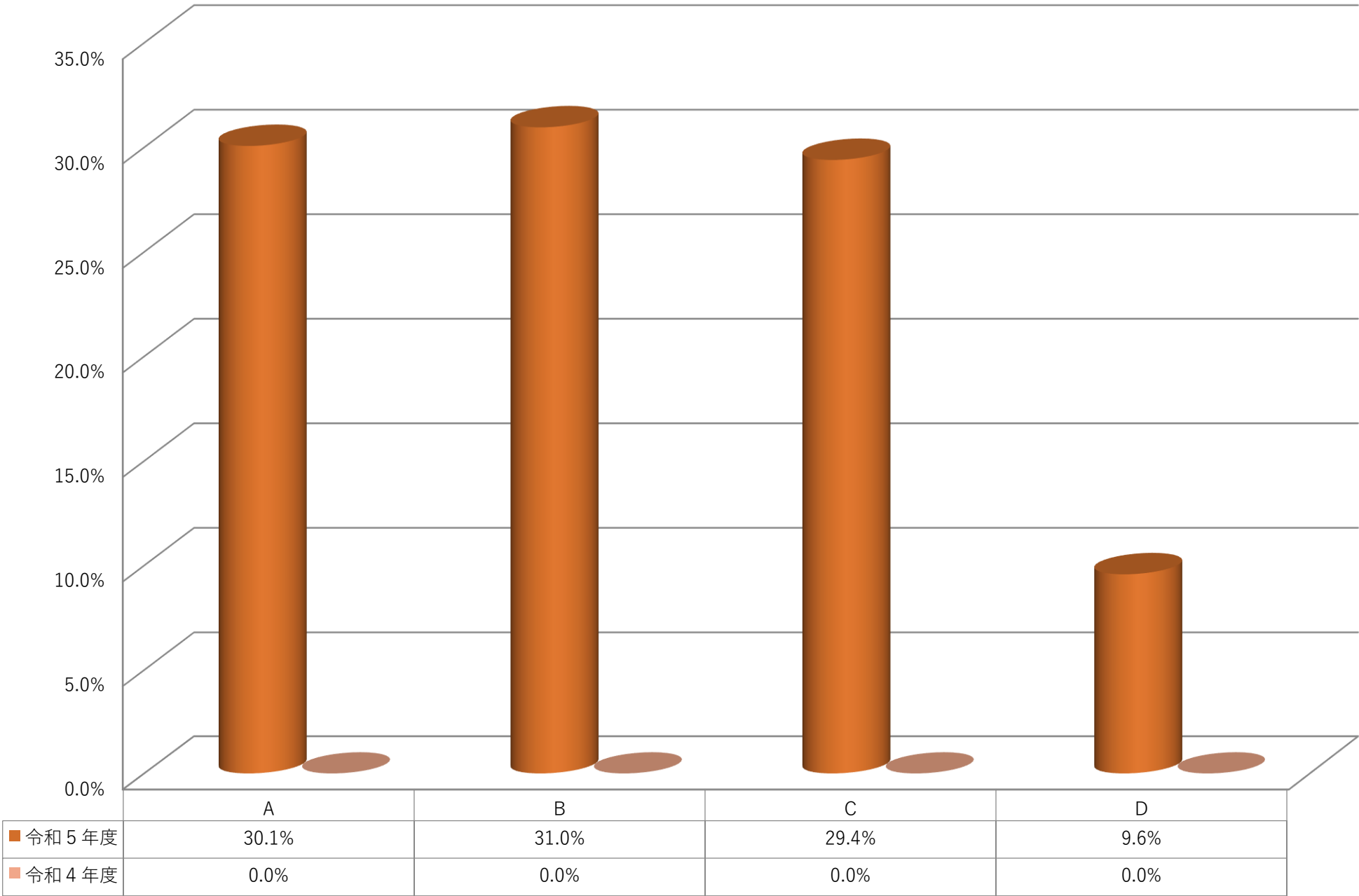
7.あなたは、宿題やその他の勉強を（学年×10分）以上やっていますか。



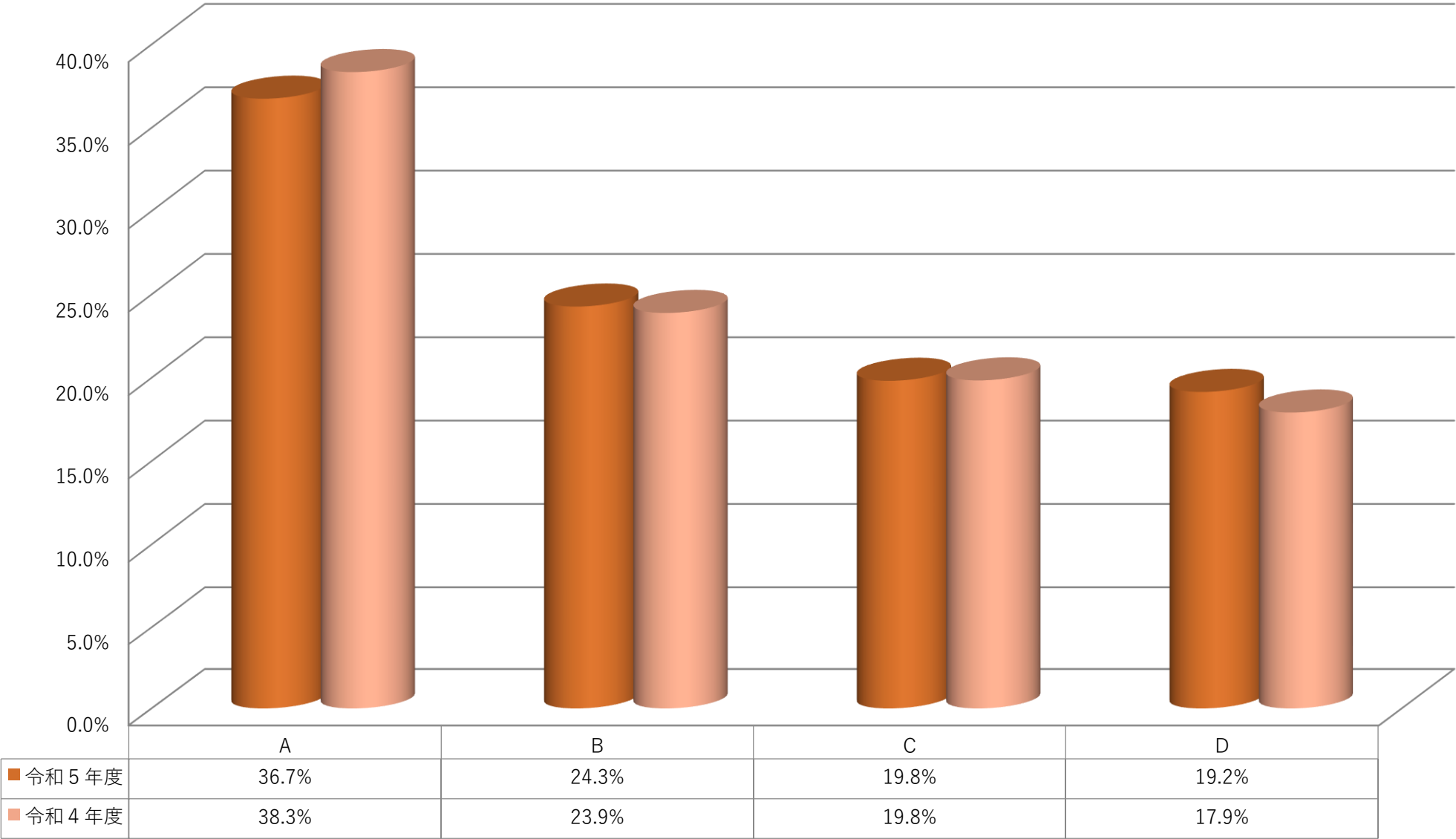
8.あなたは、きまりやルールを守っていますか。



9.あなたは、勉強することが楽しいですか。



10.あなたが「いじめにあった」としたら、校長先生、教頭先生、担任の先生、保健室の磯の先生、青空ルームの辰村先生など、だれかに相談しますか。



考察

- 共通設問 1～3 について
本校の指導重点である「ひがしの3A」（あいさつ,ありがとう,あきらめない）については,3者評価の数値からも肯定的評価は高く,目指す児童像に迫ることができていることがうかがえる。
- 共通設問 4 について
三者評価全てが肯定的評価が高いことはとても喜ばしいことであるが,100%を目指すことが責務であり,今後も児童にとっても保護者にとっても,笑顔いっぱい楽しい学校となるよう努めていく。
- 共通設問 5 について
児童の肯定的評価が88.6%と前年とほぼ同等の数値であり,まずは自己肯定感の高い児童の育成ができていることはとても喜ばしいことである。一方で保護者の肯定的評価が75.3%と差が生じる。保護者からのフィードバックを見ると,「テストや成績」に目を向けた際に,学習内容の「定着」を感じられないことが理由の一つではないかと考える。「学習の定着」には学校としても課題の一つであるため,手立てをしっかりと講じていきたい。

考察

- 共通設問 6 について 浦安市
では文部科学省から教育課程特例の指定を受け、低学年の生活科の時間 14 時間分を外国語活動に充てて指導していることから、外国語に慣れ親しむことができていることは、児童の肯定的評価の高さからうかがえる。一方、保護者からのフィードバックからは、「家庭でほとんど話題に挙がらないため、効果の実感がない」という内容が多く、インプットしたことをアウトプットできていない児童の姿がうかがえる。ぜひ家庭で「外国語活動」「外国語」の授業について話題に挙げて頂き、学習内容をアウトプットをする機会を設けてもらえればと考える。
- 共通設問 7 について 家庭学
習の習慣化ができていない状況が見受けられる。昔と違い放課後の時間の過ごし方も各家庭で多様化する中で、同じ課題を一律に全員に課す「宿題」ではなく、自分で課題を見つけ、課題解決のために何をするかという、「自学習の習慣化」を最終目標にし、発達段階に応じた家庭学習の習慣化を目指したい。

考察

- 共通設問8について
児童の様子を見る限りでは、規範意識を持って行動する姿が多く見られる。ルールを課すだけでは、抜け道を探ったり、表面上守っているふりをしたりと、規範意識の向上は見られない。「なぜルールがあるのか。」「なぜ守らなければならないのか。」「守らないことでどのような事態が想定されるか。」など、児童に考えさせたり、一緒にルール作りを行ったりすることで、「自分事」と捉えさせるような手立てを引き続き講じていきたい。
- 保護者設問9について
ご褒美を頂けたことは、教職員にとって大変励みになる。これも、保護者の皆様が「学校の働き方改革」にご理解ご協力をいただいていることで、児童と要因合っていると考えられる。児童が要因合っていると考えられる。
- 保護者設問10について
肯定的評価のフィードバックの中に、ペーパーレス化に対する意見が多くあつた。ペーパーレス化は、教育現場に限らず、推進していかなければならないう課題である。キッズビュ一の導入により、電子文書を直接配信することができ、紙文書での提供が必要なご家庭については、個別対応をしていきたいと考える。

考察

- 児童設問9について

本校のめざす子ども像「学ぶ楽しさを味わうことができる子ども」へのフィードバックを得るために、今年度新設した設問である。39%の児童が否定的評価となり、学ぶ楽しさを得られていない。この結果を重く受け止め、これまで以上に魅力ある授業づくり、一斉授業からの脱却、個別最適・協働的な学びの確立に、教職員一同努めていきたい。また、家庭学習の習慣化も重要となるため、学校教育と家庭教育の両輪で児童の育成にあたっていきたい。

- 児童設問10について

否定的評価が39%と高い数値となった。相談窓口の周知、普段からのコミュニケーションの機会の充実など、受け身ではなく、児童の変化に気づき、見逃さないような体制の強化を図っていきたい。